『作業環境測定のための労働衛生一般・労働衛生管理の実務』正誤表

[凡例] 1. [↓n] は上から数えてn行目, [↑n] は下から数えてn行目を示します。
2. 誤りではありませんが、まぎらわしい表現になっているものも掲載しました。

【第1章 有害因子と健康影響】

頁・行*(場所)	誤	正
13・↑4	監視（モニタリング）し	継続的に監視（モニタリング）し
15・↓3	量的関係，また人間の側の健康状態	量的関係，侵入経路（吸入，経口，経皮の別）また人間の側の健康状態
18・表 1.4	マンガン及びその化合物（塩基性酸化マンガンを除く）	マンガン及びその化合物
26・↓8	16～20 KHz	16～20 kHz
27・↑2（注釈）	5) 労働省労働衛生課編	6) 労働省労働衛生課編

【第2章 有害物質の体内侵入の形態】

頁・行*(場所)	誤	正
32・↓3	侵入経路は大きく，次の二つに分類	侵入経路は，大きく次の二つに分類
33・図 2.1	呼吸器の構造 ⁶⁾	呼吸器の構造 ⁷⁾
33・図 2.2	呼吸器各部位への沈着 ⁷⁾	呼吸器各部位への沈着 ⁸⁾
33・↑4（注釈）	6) 労働省労働衛生課編	7) 労働省労働衛生課編
33・↑3（注釈）	7) International	8) International
34・↓3	流体力学的粒径 ⁸⁾	流体力学的粒径 ⁹⁾
34・↓6	1 mm 前後	1 μm 前後
34・↓9	水に溶解度が低い	水に対する溶解度が低い
34・↑2（注釈）	8) 流体力学的粒径	9) 流体力学的粒径
35・図 2.3	経口侵入の経路 ⁹⁾	経口侵入の経路 ¹⁰⁾
35・↑2（注釈）	9) 興・労働省労働衛生課編	10) 興・労働省労働衛生課編
36	※「3 皮膚を介しての侵入」についての追記を別紙に示す	
36・図 2.4	皮膚 ¹⁰⁾	皮膚 ¹¹⁾
36・↑4（注釈）	10) 労働省労働衛生課編	11) 労働省労働衛生課編
36・↑3（注釈）	11) 杉林堅次	12) 杉林堅次
36・↑2（注釈）	12) 田中茂	13) 田中茂
37・図 2.5	有害物の侵入経路 ¹³⁾	有害物の侵入経路 ¹⁴⁾
37・↑2（注釈）	13) 興・労働省労働衛生課編	14) 興・労働省労働衛生課編
40・↓12	カドミウムとして	カドミウムなどとして
40・↓13	メタロチオネイン ¹⁴⁾	メタロチオネイン ¹⁵⁾

頁・行*(場所)	誤	正
40・↑2 (注釈)	14) メタロチオネイン	15) メタロチオネイン
41・図 2.7	排せつの関係 15)	排せつの関係 16)
41・↑1 (注釈)	15) 労働省労働衛生課編	16) 労働省労働衛生課編
42・図 2.8	鉛による阻害 16)	鉛による阻害 17)
42・↑4	こともあるため 17)	こともあるため 18)
42・表 2.1	(ILO/WHO) 18)	(ILO/WHO) 19)
42・↑4 (注釈)	16) 労働省労働衛生課編	17) 労働省労働衛生課編
42・↑2 (注釈)	17) 三浦豊彦	18) 三浦豊彦
42・↑1 (注釈)	18) 小泉	19) 小泉
43・表 2.2	量－影響関係 19)	量－影響関係 20)
43・表 2.3	量－影響関係 19)	量－影響関係 20)
43・↑2 (注釈)	19) 興・労働省労働衛生課編	20) 興・労働省労働衛生課編
44・図 2.9	量的関係 20)	量的関係 21)
44・↑1 (注釈)	20) 小泉	21) 小泉
45・図 2.10	(下) の対応 21)	(下) の対応 22)
45・↑1 (注釈)	21) 興	22) 興

【第3章 有害物の量に関する指標】

頁・行*(場所)	誤	正
49・↓6	労働者がの正規の	労働者が正規の

【第4章 作業環境管理の進め方】

頁・行*(場所)	誤	正
63・図 4.1	健康管理のサイクル 21)	健康管理のサイクル 23)
63・↑1 (注釈)	21) 沼野・労働省労働衛生課編	23) 沼野・労働省労働衛生課編
64・↓7	治療を必要としない程度の、異常所見	治療を必要としない程度の異常所見
65・図 4.2	環境管理のサイクル 21)	環境管理のサイクル 23)
69・図 4.6	ばく露濃度の関係 22)	ばく露濃度の関係 24)
69・↑1 (注釈)	22) 沼野	24) 沼野
70・↓2	知られている 23)	知られている 25)
70・↑4	管理する方法 24)	管理する方法 26)
70・↑2	評価する方法 25)、26)	評価する方法 27)、28)
70・↑3 (注釈)	23) 興	25) 興
70・↑2 (注釈)	24) N.A.Leidel	26) N.A.Leidel
71・↓8	明らかにされている 27)	明らかにされている 29)
71・図 4.7	ばく露濃度の関係 28)	ばく露濃度の関係 30)
71・↑8 (注釈)	25) American	27) American
71・↑6 (注釈)	26) European	28) European

頁・行*(場所)	誤	正
71・↑3 (注釈)	27) N.A.Leidel	29) N.A.Leidel
71・↑1 (注釈)	28) 木村	30) 木村
72・図 4.8	幾何平均値の比較 29)	幾何平均値の比較 31)
72・↑1 (注釈)	29) 中央労働災害防止協会	31) 中央労働災害防止協会
75・表 4.1 (⑧鉛業務を行う屋内作業場)	1 か月	1 か年
76・表 4.2	健康障害防止措置の関係 30)	健康障害防止措置の関係 32)
76・↑1 (注釈)	30) 興	32) 興
80・↑3	有害物質を発散する可能性のある装置, 設備などの近くで, 固定して行う作業	有害物質を発散するおそれのある装置, 設備などの近くで行う作業
83・↑1	幾何平均 (M) 31)	幾何平均 (M) 33)
83・↑3 (注釈)	31) 通常幾何平均は	33) 通常幾何平均は
84・↓1	標準偏差 (σ) 31)	標準偏差 (σ) 33)
93・図 4.13	防止対策 32)	防止対策 34)
93・↑1 (注釈)	32) 沼野	34) 沼野
98・図 4.14	蒸発 33)	蒸発 35)
98・↑1 (注釈)	33) 沼野	35) 沼野
99・写真 4.4	(×400) 34)	(×400) 36)
99・↑1 (注釈)	34) (財)労働科学研究所	36) (財)労働科学研究所
100・写真 4.5	粉じんの例 33)	粉じんの例 36)
102・写真 4.8	(×10,000) 33)	(×10,000) 36)
104・↓16	シアニジンなどを	ジアニシジンなどを
108・図 4.15	局所排気装置 34)	局所排気装置 37)
108・↑1 (注釈)	34) 沼野	37) 沼野
109・図 4.16	プッシュプル型換気装置 35)	プッシュプル型換気装置 38)
109・↑1 (注釈)	35) 沼野	38) 沼野
112・図 4.17	希釈排出 36)	希釈排出 39)
112・↑1 (注釈)	36) 沼野	39) 沼野

【第5章 労働衛生保護具】

頁・行*(場所)	誤	正
117・↓14	経度吸収	経皮吸収
129・↑15	など耐浸透性の	など耐浸透性の